

平成28年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	東京都		市町村類型	特別区	指定団体等の指定状況		区分		平成28年度(千円)		平成27年度(千円)		区分		平成28年度(千円・%)	平成27年度(千円・%)																																																																																											
					財政健全化等	×	歳入総額	164,543,367	149,064,107	実質収支比率	4.6	5.0																																																																																															
市町村名	品川区		地方交付税種地	0-	財源超過	○	歳出総額	159,246,900	144,013,842	経常収支比率	71.8	71.1																																																																																															
					首都	○	歳入歳出差引	5,296,467	5,050,265	(※1)	(71.8)	(71.1)																																																																																															
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	808,910	373,500	標準財政規模	97,737,824	94,363,074																																																																																															
					中部	×	実質収支	4,487,557	4,676,765	財政力指数	0.56	0.55																																																																																															
人口	27年国調(人)	386,855	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	-189,208	948,295	公債費負担比率	1.8	2.0																																																																																															
	22年国調(人)	365,302			過疎	×	積立金	2,373,649	3,342,503	健全化判断比率																																																																																																	
	増減率(%)	5.9			山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-																																																																																															
住民基本台帳人口(※7)	29.01.01(人)	382,761	区分	27年国調	22年国調	低開発	×	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-																																																																																														
	うち日本人(人)	371,019	第1次	168	142	指数表選定	○	実質単年度収支	2,184,441	4,290,798	実質公債費比率	-4.2	-3.9																																																																																														
	28.01.01(人)	378,123		0.1	0.1																																																																																																						
	うち日本人(人)	367,103	第2次	26,835	24,372																																																																																																						
	増減率(%)	1.2		16.6	15.8																																																																																																						
	うち日本人(%)	1.1	第3次	134,610	129,284																																																																																																						
	面積(km ²)	22.84		83.3	84.1																																																																																																						
人口密度(人/km ²)	16,938																																																																																																										
世帯数(世帯)	212,374																																																																																																										
職員の状況																																																																																																											
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	14,708,010	16,457,862																																																																																																
	市区町村長	1	11,460		一般職員	2,422	7,081,928	2,924	うち公的資金	14,708,010	16,457,862																																																																																																
	副市区町村長	2	9,200		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	12,400,490	10,196,612																																																																																																
	教育長	1	8,010		うち技能労務職員	270	805,680	2,984	収益事業収入	100,000	35,000																																																																																																
	議会議長	1	9,220		教育公務員	70	225,246	3,218	土地開発基金現在高	-	-																																																																																																
	議会副議長	1	7,880		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	17,659,618	15,285,969																																																																																																
	議会議員	38	6,050		合計	2,492	7,307,174	2,932	財政調整基金	11,122,264	11,786,995																																																																																																
						ラスパイレシ指数			99.2	減債基金	62,867,022	61,186,933																																																																																															
										その他特定目的基金																																																																																																	
	<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>事業会計の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>公営企業(法通)の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>公営企業(法非通)の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>関係する一部事務組合等一覧 項番</td> <td>組合等名</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧 項番</td> <td>団体名</td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>国民健康保険事業会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(5)</td> <td>特別区人事・厚生事務組合</td> <td>(11)</td> <td>品川区土地開発公社</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(6)</td> <td>特別区競馬組合</td> <td>(12)</td> <td>(財)品川区スポーツ協会</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4)</td> <td>介護保険特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(7)</td> <td>臨海部広域斎場組合</td> <td>(13)</td> <td>(財)品川区文化振興事業団</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(8)</td> <td>東京二十三区清掃一部事務組合</td> <td>(14)</td> <td>(財)品川区国際友好協会</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9)</td> <td>東京都後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td>(15)</td> <td>(財)品川都市整備公社</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>東京都後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)</td> <td>(16)</td> <td>(財)品川ビジネスクラブ</td> <td></td> </tr> </table>																	一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法通)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非通)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)	(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業会計					(5)	特別区人事・厚生事務組合	(11)	品川区土地開発公社	○			(3)	後期高齢者医療特別会計					(6)	特別区競馬組合	(12)	(財)品川区スポーツ協会				(4)	介護保険特別会計					(7)	臨海部広域斎場組合	(13)	(財)品川区文化振興事業団										(8)	東京二十三区清掃一部事務組合	(14)	(財)品川区国際友好協会										(9)	東京都後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(15)	(財)品川都市整備公社										(10)	東京都後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(16)	(財)品川ビジネスクラブ
一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法通)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非通)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)																																																																																															
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業会計					(5)	特別区人事・厚生事務組合	(11)	品川区土地開発公社	○																																																																																															
		(3)	後期高齢者医療特別会計					(6)	特別区競馬組合	(12)	(財)品川区スポーツ協会																																																																																																
		(4)	介護保険特別会計					(7)	臨海部広域斎場組合	(13)	(財)品川区文化振興事業団																																																																																																
								(8)	東京二十三区清掃一部事務組合	(14)	(財)品川区国際友好協会																																																																																																
								(9)	東京都後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(15)	(財)品川都市整備公社																																																																																																
								(10)	東京都後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(16)	(財)品川ビジネスクラブ																																																																																																

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	46,953,652	28.5	46,953,652	46.8	普通税	46,953,652	100.0	-	
地方譲与税	532,332	0.3	532,332	0.5	法定普通税	46,953,652	100.0	-	
利子割交付金	164,378	0.1	164,378	0.2	市町村民税	43,357,945	92.3	-	
配当割交付金	537,139	0.3	537,139	0.5	個人均等割	779,255	1.7	-	
株式等譲渡所得割交付金	313,344	0.2	313,344	0.3	所得割	42,578,690	90.7	-	
地方消費税交付金	10,255,389	6.2	10,255,389	10.2	法人均等割	-	-	-	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	-	-	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	-	-	-	
自動車取得税交付金	241,942	0.1	241,942	0.2	うち純固定資産税	-	-	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	123,695	0.3	-	
地方特例交付金	155,631	0.1	155,631	0.2	市町村たばこ税	3,472,012	7.4	-	
地方交付税	-	-	-	-	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	-	-	-	-	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	-	-	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	-	-	-	
(一般財源計)	59,153,807	36.0	59,153,807	59.0	法定目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	31,865	0.0	31,865	0.0	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	1,872,846	1.1	33,542	0.0	事業所税	-	-	-	
使用料	4,784,063	2.9	1,320,073	1.3	都市計画税	-	-	-	
手数料	611,284	0.4	871	0.0	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	30,190,433	18.3	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	40,992,886	24.9	38,972,148	38.9	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	12,261,586	7.5	-	-	合計	46,953,652	100.0	-	
財産収入	920,374	0.6	725,627	0.7					
寄附金	30,299	0.0	-	-					
繰入金	4,563,839	2.8	-	-					
繰越金	5,050,265	3.1	-	-					
諸収入	4,079,820	2.5	1,318	0.0					
地方債	-	-	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	-	-	-	-					
歳入合計	164,543,367	100.0	100,239,251	100.0					

区分		平成28年度	平成27年度
徴収率(%)	現・計	99.2	98.7
	年	99.1	98.6
	年	-	-

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	14,957,569	実質収支	1,358,891
介護サービス	3,807,611	再差引収支	1,082,421
上水道	-	加入世帯数(世帯)	58,593
工業用水道	-	被保険者数(人)	83,123
交通	-	被保険者	124
国民健康保険	3,986,990	1人当り	91
その他	7,162,968	保険料(料)収入額	289
		国庫支出金	91
		保険給付費	289

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	809,091	0.5	-	808,180
総務費	16,604,612	10.4	1,054,582	14,672,017
民生費	69,730,784	43.8	3,248,474	40,503,111
衛生費	11,163,419	7.0	254,294	9,840,936
労働費	501,316	0.3	114,753	335,026
農林水産業費	-	-	-	-
商工費	1,855,767	1.2	215,227	1,506,284
土木費	34,285,996	21.5	29,926,285	15,364,710
消防費	3,208,994	2.0	1,034,317	2,664,569
教育費	19,090,348	12.0	3,652,507	17,148,218
災害復旧費	6,812	0.0	-	6,812
公債費	1,989,761	1.2	-	1,989,761
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	159,246,900	100.0	39,500,439	104,839,624

性質別歳入の状況(単位:千円・%)						
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	
義務的経費計	61,945,949	38.9	38,277,634	38,117,076	38.0	
人件費	24,493,474	15.4	22,220,375	22,060,367	22.0	
うち職員給	16,024,068	10.1	15,077,573	-	-	
扶助費	35,462,714	22.3	14,067,498	14,066,948	14.0	
公債費	1,989,761	1.2	1,989,761	1,989,761	2.0	
元利償還金	1,989,761	1.2	1,989,761	1,989,761	2.0	
内訳	うち元金	1,749,852	1.1	1,749,852	1,749,852	1.7
	うち利子	239,909	0.2	239,909	239,909	0.2
	一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	57,793,700	36.3	48,583,995	33,887,977	33.8	
物件費	26,526,521	16.7	22,401,434	20,581,962	20.5	
維持補修費	1,115,969	0.7	883,474	883,474	0.9	
補助費等	7,040,079	4.4	5,992,322	5,077,620	5.1	
うち一部事務組合負担金	1,504,995	0.9	1,504,995	1,150,819	1.1	
繰出金	14,957,569	9.4	11,432,461	7,317,733	7.3	
積立金	7,952,846	5.0	7,847,040	-	-	
投資・出資金・貸付金	200,716	0.1	27,264	27,188	0.0	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	
投資的経費計	39,507,251	24.8	17,977,995	-	-	
うち人件費	476,720	0.3	409,287	-	-	
普通建設事業費	39,500,439	24.8	17,971,183	-	-	
うち補助	22,023,274	13.8	6,765,687	-	-	
うち単独	17,477,165	11.0	11,205,496	-	-	
災害復旧事業費	6,812	0.0	6,812	-	-	
失業対策事業費	-	-	-	-	-	
歳出合計	159,246,900	100.0	104,839,624	-	-	

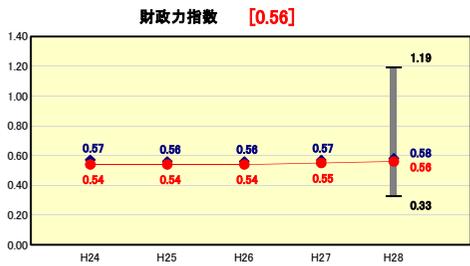
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	382,761人 (H29.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	371,019人 (H29.1.1現在)	連続実質赤字比率	- %
面積	22.84 km ²	実質公債費比率	-4.2 %
歳入総額	164,543,367千円	将来負担比率	- %
歳出総額	159,246,900千円	市町村類型	H24 特別区 H25 特別区 H26 特別区 H27 特別区 H28 特別区
実質収支	4,487,557千円	(年度毎)	
標準財政規模	97,737,824千円		
地方債現在高	14,708,010千円		



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

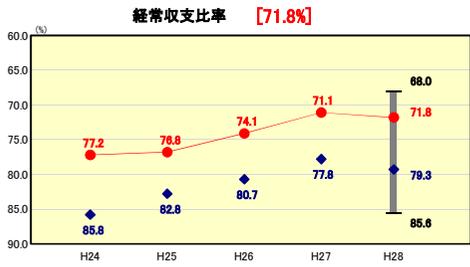
財政力



財政力指数の分析欄

基準財政収入額が4.3%、基準財政需要額が3.4%増となり、前年度より0.01ポイントの微増となった。
 類似団体との比較では、平均値を0.02ポイント下回っており、今後、さらなる歳出の徹底した見直しと、確実な歳入確保により財政基盤の強化に努める。

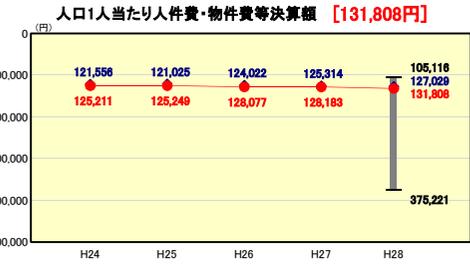
財政構造の弾力性



経常収支比率の分析欄

前年度までと同様に類似団体の平均を下回り、引き続き健全性は維持されている。財政調整交付金、特別区民税が増となったものの、各種交付金の減少に加え、扶助費等が増加したことにより、71.8%と前年度から0.7ポイントの増となった。
 今後も、25年度に改訂した長期基本計画の着実な実現を図るため、経常的な経費の縮減に努めていく。

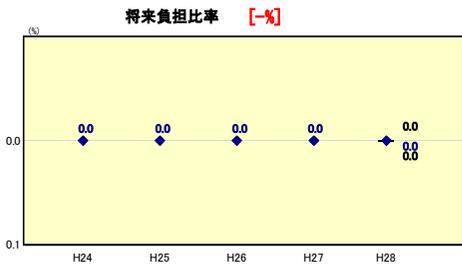
人件費・物件費等の状況



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人口1人当たり人件費・物件費等の決算額は、委託の推進など、前年度と比較して3,625円の増加となっている。
 類似団体平均に比べ若干高くなっているのは、主に物件費を要因としており、民間委託の積極的な導入などによるものである。

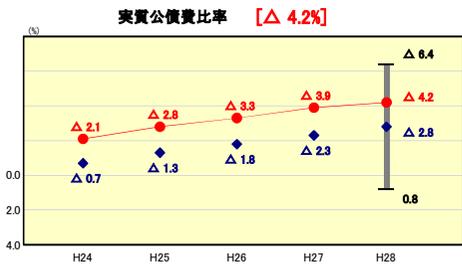
将来負担の状況



将来負担比率の分析欄

前年度までと同様に、地方債の現在高や退職手当等の将来負担見込額に対して、充当可能基金や基準財政需要額算入見込額の合計である充当可能財源が上回っており、将来負担比率は表示上「-%」の状態が継続している。
 引き続き、実質的な将来負担を把握し、地方債の発行の必要性を精査するとともに、基金の着実な確保に努め、安定した財政基盤を確立していく。

公債費負担の状況



実質公債費比率の分析欄

過去からの起債抑制策および償還が進んだことにより、平成28年度は前年度に比べ、0.3ポイント減の△4.2%となった。この数値は、類似団体平均と比較すると、1.4ポイント下回っている。
 今後も、起債については、必要性を精査して行うことにより、柔軟かつ健全な財政運営に努める。

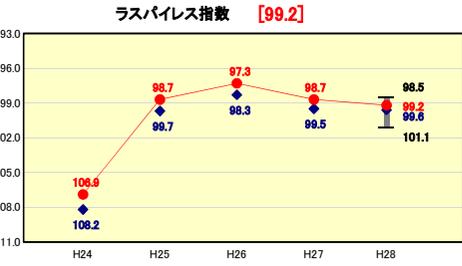
定員管理の状況



人口千人当たり職員数の分析欄

人口千人当たりの職員数は、前年度に比べて0.03人増加し、6.51人となった。この数値は、類似団体平均よりは若干上回っているが、その主な要因は、待機児童対策のための保育士の採用増によるものである。
 このような状況のなかでも、毎年度の徹底した職員配置の見直しにより、職員数については年々減少しているところであるが、引き続き、事務の効率化など内部努力を行い、適切な定員管理に努める。

給与水準 (国との比較)



ラスパイレズ指数の分析欄

職員の給与水準は、23区内の民間の従業員の給与水準と均衡させることを基本とし、特別区人事委員会の勧告に基づき決定している。28年度は前年度より0.5ポイント減少しており、引き続き、適正な給与水準を保っていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

東京都品川区

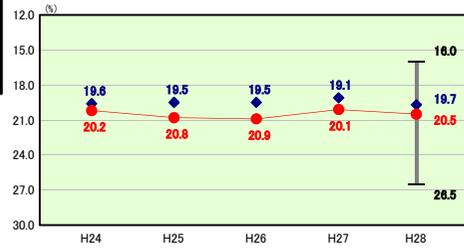
経常収支比率の分析

人口	382,761	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	371,019	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	22.84	km ²	実質公債費比率	-4.2	%
歳入総額	164,543,367	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	159,246,900	千円	市町村類型	H24 特別区 H25 特別区 H26 特別区	
実質収支	4,487,557	千円	(年度毎)	H27 特別区 H28 特別区	
標準財政規模	97,737,824	千円			
地方債現在高	14,708,010	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

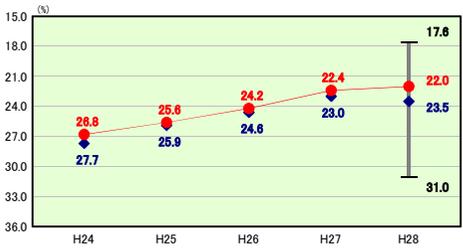
物件費



類似団体内順位 15/23 全国平均 14.8 東京都平均 18.0

物件費の分析欄
 前年度よりも0.4ポイント増の20.5となり、類似団体平均を0.8ポイント上回っている。これは、委託化の推進などによるものである。今後も、業務の見直しを進め、住民サービスの質を維持しつつ、歳出抑制を図っていく。

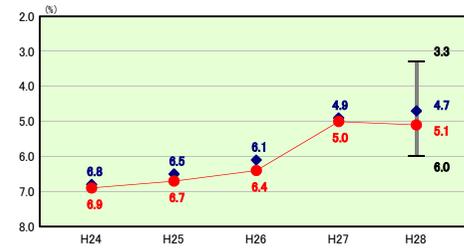
人件費



類似団体内順位 5/23 全国平均 23.7 東京都平均 23.6

人件費の分析欄
 毎年度職員定数を見直し、適正な職員配置に努め、人件費決算額は引き続き縮減傾向にあるが、退職者増により、人件費に係る経常収支比率は、前年度比0.4ポイントの増となった。今後も、住民サービスの向上を図りつつ、民間活力の有効活用を積極的に行っていく。

補助費等



類似団体内順位 16/23 全国平均 10.4 東京都平均 10.9

補助費等の分析欄
 生活保護費の減などにより、前年度比0.1ポイント増加しているが、類似団体平均値との差はわずかで、近年はほぼ同様の傾向である。補助金の内容については毎年度見直しを行っており、今後も引き続き事業内容の精査・検証を行っていく。

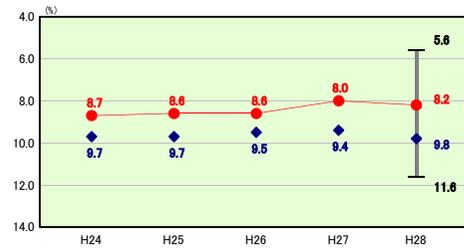
扶助費



類似団体内順位 6/23 全国平均 12.4 東京都平均 15.2

扶助費の分析欄
 扶助費に係る経常収支比率は、類似団体平均と比較する4.5ポイント下回っているが、私立保育園関係費の増で前年度比では0.6ポイント増加している。各種手当受給資格審査の適正化や、生活保護の適正支給の拡充などにより、扶助費の上昇傾向に歯止めをかけるよう引き続き努める。

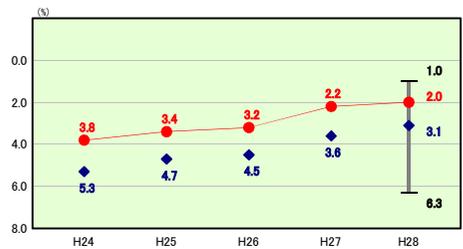
その他



類似団体内順位 5/23 全国平均 13.5 東京都平均 13.6

その他の分析欄
 その他に係る経常収支比率は8.2%で、前年度比0.2ポイント増となり、類似団体平均を下回っている。引き続き健全財政に向け、歳出金額の精査を図っていく。

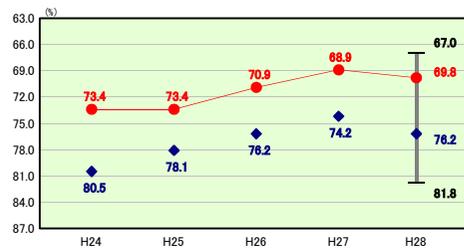
公債費



類似団体内順位 6/23 全国平均 17.7 東京都平均 9.8

公債費の分析欄
 過去からの起債抑制策により、今年度も引き続き類似団体平均を下回っている。今後も起債はより高い効果が見込まれるものに限定するなど、健全財政の維持に努める。

公債費以外



類似団体内順位 2/23 全国平均 74.8 東京都平均 81.3

公債費以外の分析欄
 公債費以外の経常収支比率は69.8%で、前年度比0.9ポイント増となった。この数値は類似団体平均を6.3ポイント下回っており、これまでの行財政改革の取り組みの効果が表れている。今後も事業の見直しや事務の効率化により、さらなる健全財政の推進を図っていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

東京都品川区

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

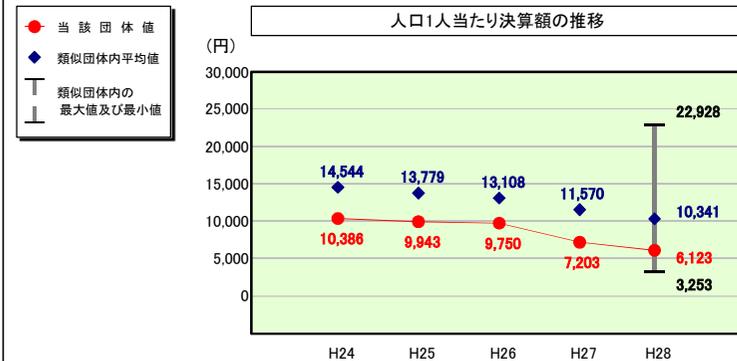
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	24,493,474	63,992	64,294	▲ 0.5
賃金(物件費)	108,898	285	1,112	▲ 74.4
一部事務組合負担金(補助費等)	354,253	926	950	▲ 2.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	-	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	732,010	1,912	2,288	▲ 16.4
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	476,720	1,245	1,494	▲ 16.7
▲退職金	▲ 2,161,899	▲ 5,648	▲ 5,498	2.7
合計	24,003,456	62,711	64,641	▲ 3.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.51	6.28	0.23
ラスパイレス指数	99.2	99.6	▲ 0.4

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

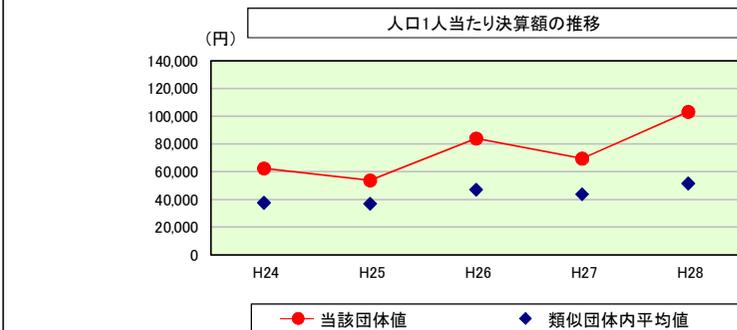


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,139,225	5,589	6,955	▲ 19.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	257	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	-	-	31	-
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	194,762	509	349	45.8
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	9,645	25	2,757	▲ 99.1
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	-	-	▲ 9	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	-	-	-	-
合計	2,343,632	6,123	10,341	▲ 40.8

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H24	22,902,049	62,429	▲ 15.4	37,665	▲ 5.0	▲ 10.4
うち単独分	15,838,375	43,174	▲ 8.8	25,730	▲ 9.8	1.0
H25	19,833,253	53,783	▲ 13.8	36,861	▲ 2.1	▲ 11.7
うち単独分	8,565,475	23,228	▲ 46.2	23,990	▲ 6.8	▲ 39.4
H26	31,229,106	83,932	56.1	47,064	27.7	28.4
うち単独分	12,778,941	34,345	47.9	32,508	35.5	12.4
H27	26,266,975	69,467	▲ 17.2	43,773	▲ 7.0	▲ 10.2
うち単独分	14,008,871	37,048	7.9	30,346	▲ 6.7	14.6
H28	39,500,439	103,199	48.6	51,565	17.8	30.8
うち単独分	17,477,165	45,661	23.2	35,359	16.5	6.7
過去5年間平均	27,946,364	74,562	11.7	43,386	6.3	5.4
うち単独分	13,733,765	36,691	4.8	29,587	5.7	▲ 0.9

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

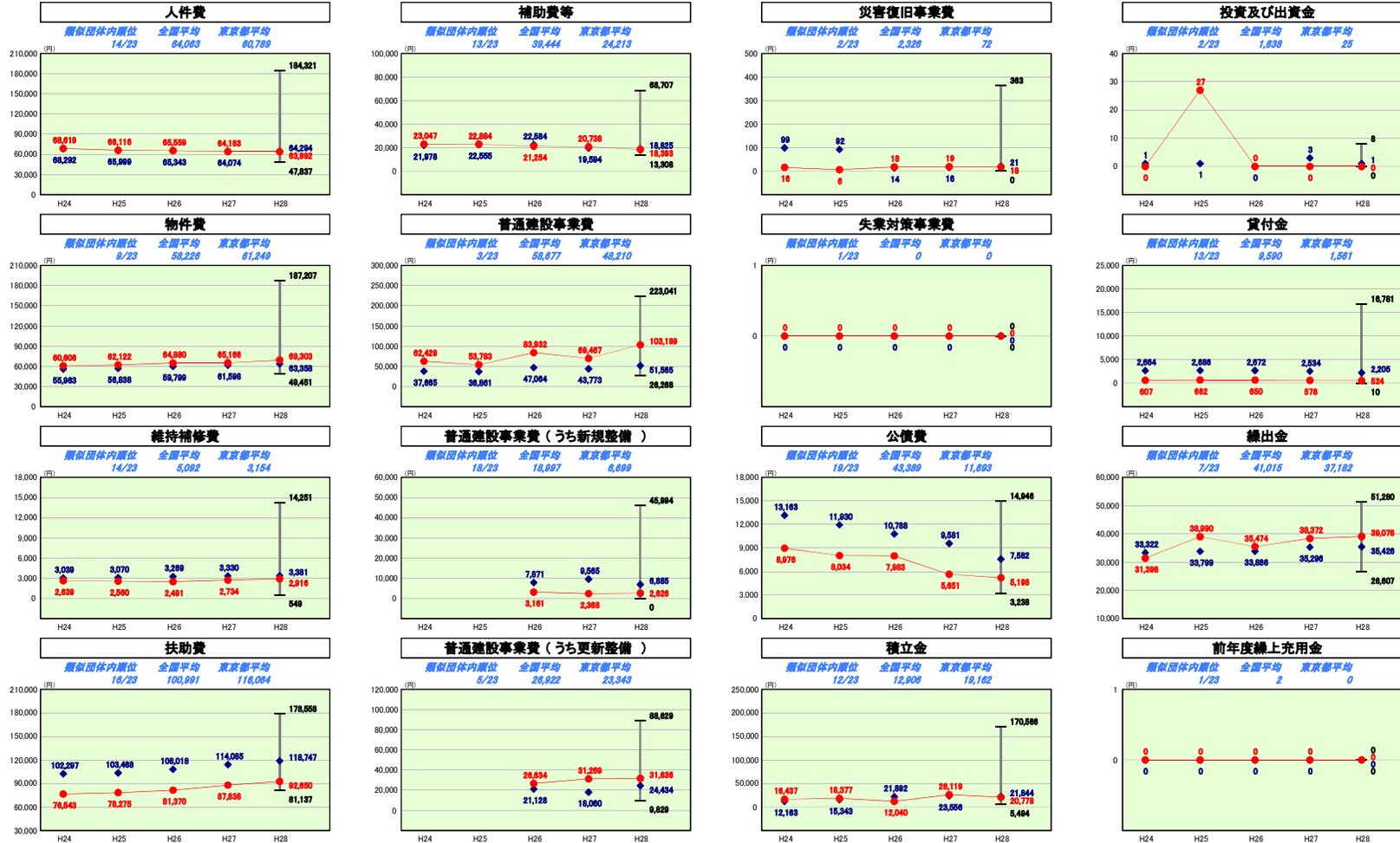
平成28年度

東京都品川区

人口	382,761	人(H29.1.1現在)			
うち日本人	371,019	人(H29.1.1現在)			
面積	22.84	km ²			
歳入総額	184,543,367	千円	実収赤字比率	-	%
歳出総額	159,246,900	千円	実収赤字比率	-	%
実収文	4,487,557	千円	実収公債費比率	-4.2	%
標準財政規模	97,707,624	千円	将来負担比率	-	%
地方債現在高	14,706,010	千円	市町村類型	H24 特別区 H25 特別区 H26 特別区	
			(年度毎)	H27 特別区 H28 特別区	



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析圖

歳出決算総額は、住民一人当たり416,048円となっている。主な構成項目である扶助費は、住民一人当たり92,650円となっており、昨年度から比較すると5.5%増加している。その主な要因は、私立保育園関係費の増と臨時福祉給付金の増によるものである。
 普通建設事業費は、住民一人当たり103,199円となっており、類似団体と比較して一人当たりのコストが高い状況となっているが、その主な要因は、大崎駅周辺や目黒駅前など複数の再開発事業によるものである。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

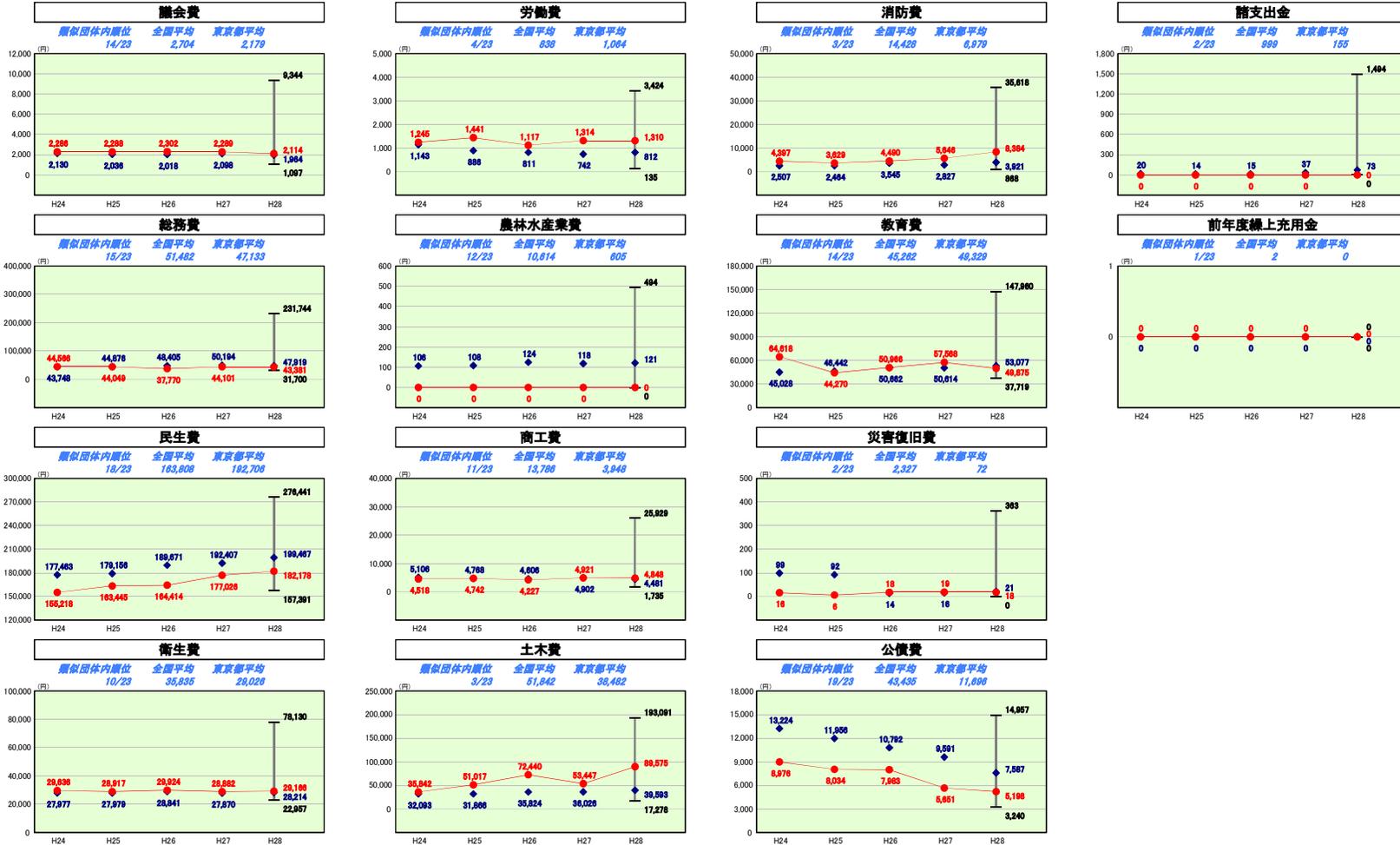
平成28年度

東京都品川区

人口	382,761	人(H29.1.1現在)			
うち日本人	371,019	人(H29.1.1現在)			
面積	22.84	km ²			
歳入総額	184,543,387	千円	実収率	-	%
歳出総額	159,246,900	千円	実収率	-	%
実収率	4,487,657	千円	実収率	-4.2	%
標準財政規模	97,707,624	千円	待来負担率	-	%
地方債現在高	14,706,010	千円	市町村類型	H24 特別区	H25 特別区
			(年度毎)	H27 特別区	H28 特別区

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



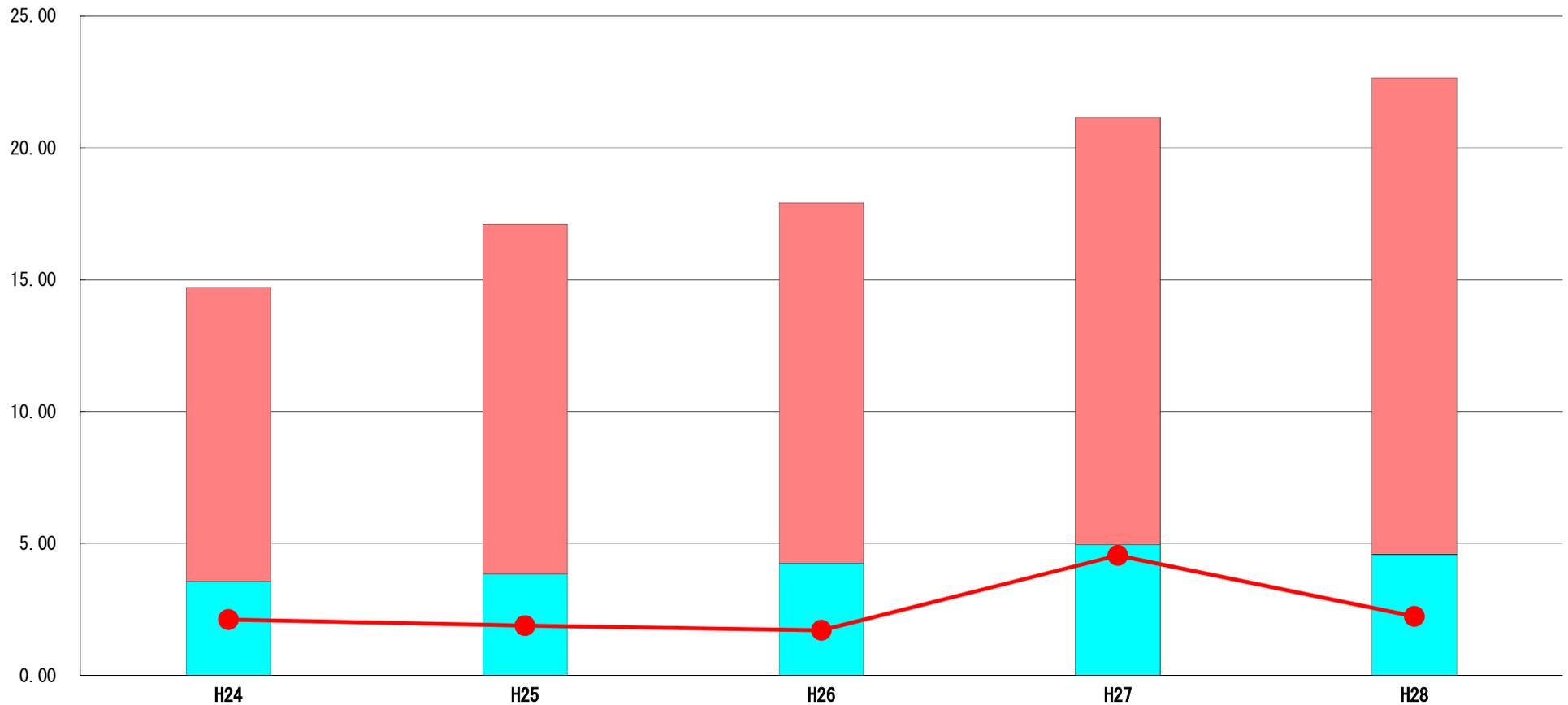
目的別歳出の分析欄
 民生費は、住民一人当たり182,178円となっている。決算額全体とみると、民生費のうち児童福祉費が増加していることが主な要因となっている。これは、待機児童対策に重点的に取り組んできたことによるものである。
 土木費は、住民一人当たり89,575円となっており、類似団体平均に比べ高止まりしているのは、大崎駅周辺や目黒駅前地区の再開発事業によるものである。
 消防費は、住民一人当たり8,384円となっており、類似団体平均に比べ高止まりしているのは、災害復旧基金積立金の増と木造密集地域の重点的整備に取り組んできたことによるものである。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成28年度

東京都品川区

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28
 財政調整基金残高		11.15	13.27	13.66	16.20	18.07
 実質収支額		3.56	3.84	4.26	4.96	4.59
 実質単年度収支		2.12	1.89	1.71	4.55	2.24

分析欄

財政調整基金については、将来への行政需要に備え、継続して積み立てを行ってきており、平成28年度2,373,649千円を積み立てた。今後も着実な基金の確保に努めていく。

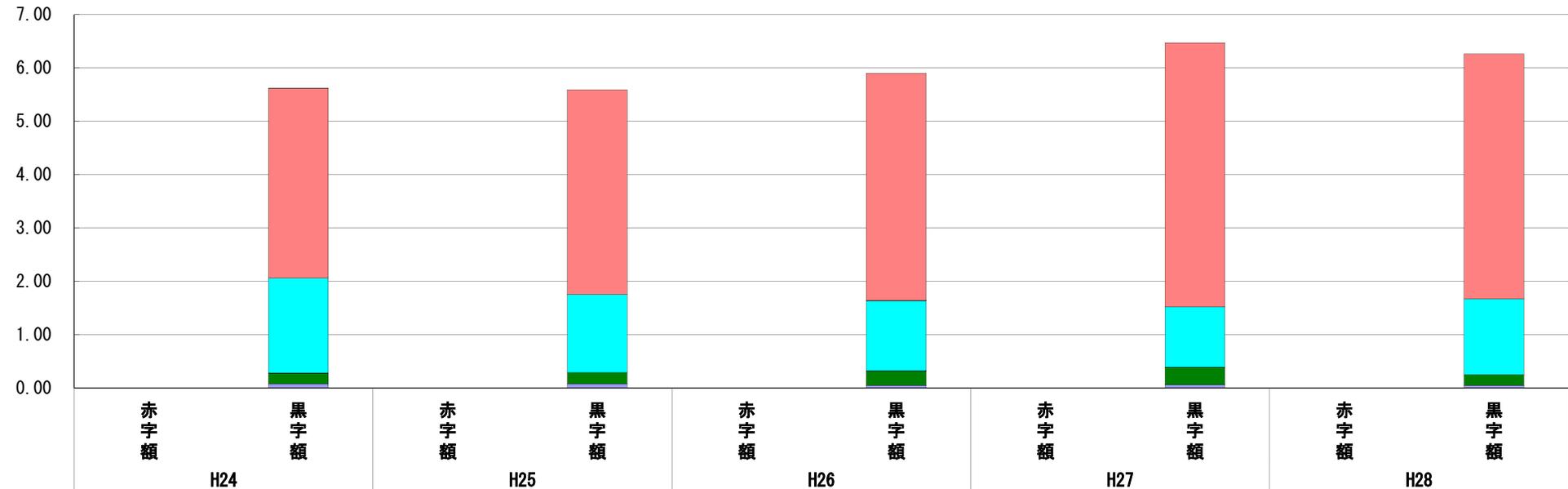
実質収支額は、適正水準とされる標準財政規模の3～5%の範囲内で推移しており、当該年度の財政運営が健全であることを示している。また、実質単年度収支は、財政調整基金の積立額の対前年度減により2.24%となり前年度から2.31ポイント減少した。今後も計画的かつ適正な財政運営を進めていく。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成28年度

東京都品川区

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H24	H25	H26	H27	H28
一般会計		3.56	3.84	4.26	4.95	4.59
国民健康保険事業会計		1.78	1.46	1.32	1.13	1.42
介護保険特別会計		0.20	0.21	0.27	0.33	0.20
後期高齢者医療特別会計		0.08	0.08	0.05	0.06	0.05
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

分析欄

一般会計、国民健康保険事業会計ほか全ての特別会計において、実質収支は継続して黒字の状態であり、財政の健全性は維持されている。特に一般会計においては、標準財政規模比3～4%台で、堅調に推移しており、安定的な財政運営を行っている。

国民健康保険事業会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計について、実質収支の標準財政規模比は前年度より若干の増減はあるものの、黒字の状態を維持している。

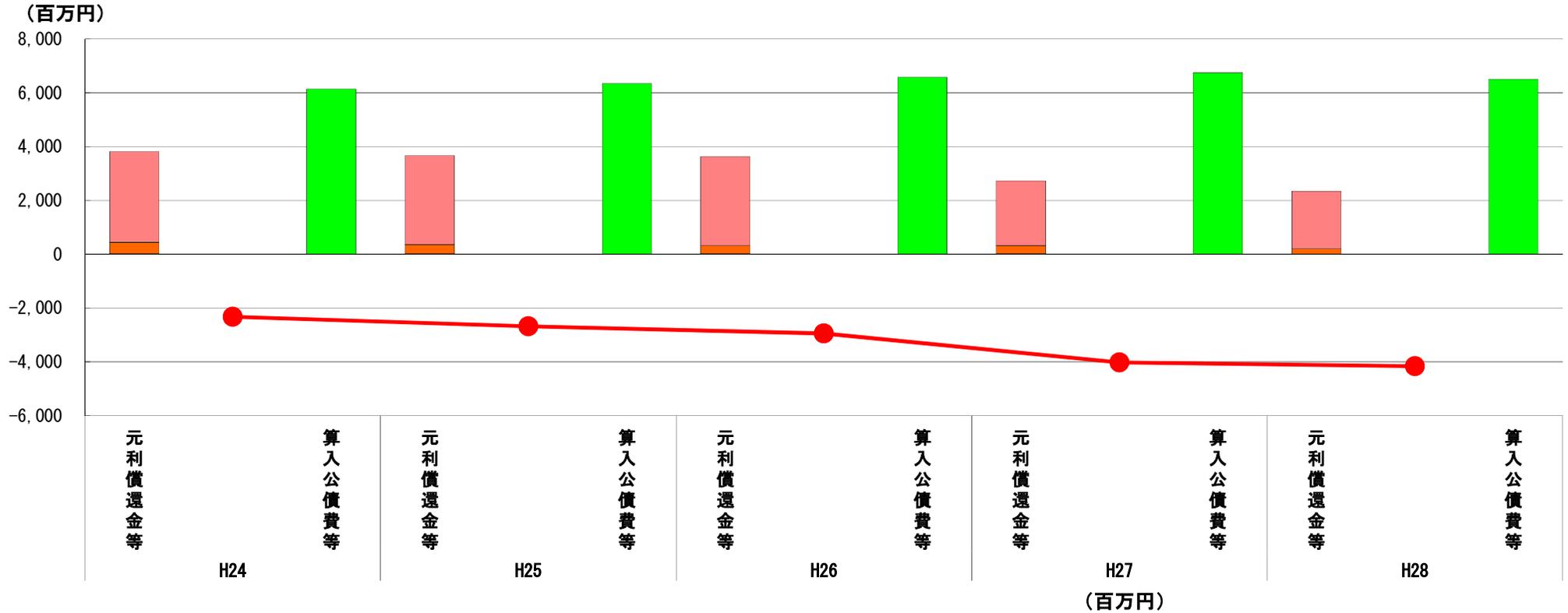
引き続き、各会計の財政運営の適切な執行に努める。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

東京都品川区



分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金		3,361	3,308	3,307	2,409	2,139
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		9	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		-	-	-	-	-
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		421	339	301	295	195
	債務負担行為に基づく支出額		20	20	20	20	10
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		6,140	6,348	6,577	6,744	6,508
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		▲ 2,329	▲ 2,681	▲ 2,949	▲ 4,020	▲ 4,164

分析欄

元利償還金は、近年の起債抑制策により、前年度より270百万円の減で、着実に減少してきている。その結果、元利償還金等から算入公債費等を差し引いた実質公債費比率の分子は毎年度減少しており、極めて高い健全性を保っている。

今後も、地方債の発行については、必要性および効果を十分に精査し、安定した財政運営に努める。

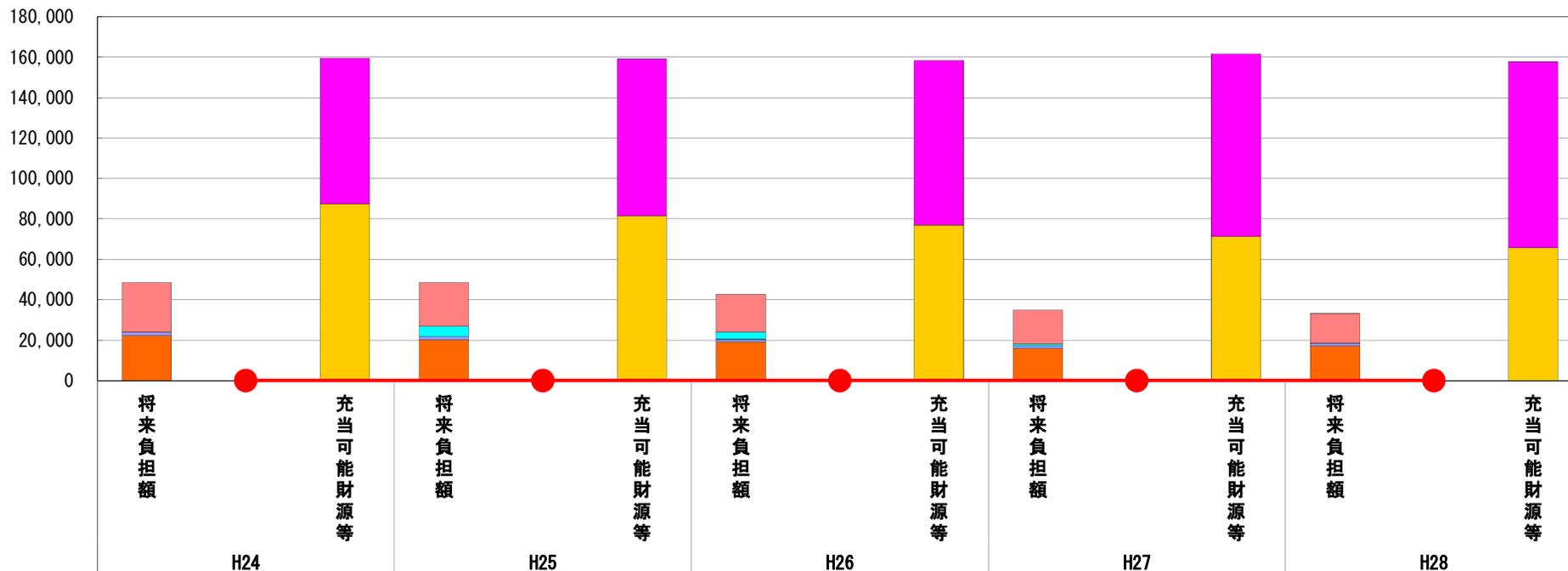
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

東京都品川区

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		24,382	21,489	18,537	16,640	14,744
	債務負担行為に基づく支出予定額		72	5,251	3,689	1,070	134
	公営企業債等繰入見込額		-	-	-	-	-
	組合等負担等見込額		1,641	1,532	1,384	1,246	1,218
	退職手当負担見込額		22,278	20,154	19,114	15,872	17,111
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		72,161	77,604	81,411	90,257	92,130
	充当可能特定歳入		-	-	-	-	-
	基準財政需要額算入見込額		87,376	81,526	76,974	71,392	65,654
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 111,165	▲ 110,703	▲ 115,662	▲ 126,822	▲ 124,578

分析欄

将来負担額のうち地方債の現在高は、近年の起債抑制策により、前年度より減少している。また、退職手当負担見込額については、前年度比7.8%増となっているが、毎年度適正な定員管理に努め現在の水準を確保していく。

一方、充当可能財源等については、充当可能基金が着実に上昇しており、将来負担額を上回る状態を維持している。

今後も引き続き区の将来負担を適切に見極め、適正な財政運営に努める。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

平成28年度

東京都品川区

人口	382,761	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	371,019	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	22.84	km ²	実質公債費比率	-4.2	%
歳入総額	164,543,367	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	159,246,900	千円	市町村類型	H24 特別区	H25 特別区 H26 特別区
実質収支	4,487,557	千円	(年度毎)	H27 特別区	H28 特別区
標準財政規模	97,737,824	千円			
地方債現在高	14,708,010	千円			

◆ 類似団体内平均値

※ 有形固定資産減価償却率は平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
 ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

有形固定資産減価償却率

有形固定資産減価償却率 [-]

類似団体内順位 -/-

全国平均 57.8

東京都平均 54.9

固定資産台帳整備中・未整備

有形固定資産減価償却率の分析欄

債務償還可能年数

債務償還可能年数 [-]

債務償還可能年数の分析欄

債務償還可能年数は総務省で算出式を精査中であり、平成29年度より公表する。

算出式精査中のため、出力対象外

将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

将来負担比率と有形固定資産減価償却率の推移

固定資産台帳整備中・未整備

分析欄

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率					
	有形固定資産減価償却率					
類似団体内平均値	将来負担比率					
	有形固定資産減価償却率					

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析

将来負担比率と実質公債費比率の推移

将来負担比率

実質公債費比率 (%)

分析欄

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率	-	-	-	-	-
	実質公債費比率	▲ 2.1	▲ 2.8	▲ 3.3	▲ 3.9	▲ 4.2
類似団体内平均値	将来負担比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実質公債費比率	▲ 0.7	▲ 1.3	▲ 1.8	▲ 2.3	▲ 2.8

(12)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

平成28年度

東京都品川区

人	382,781	人(29.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本人	371,019	人(29.1.1現在)	通 債 実 質 赤 字 比 率	-	%
国 籍	22,94	千円	実 質 公 債 負 担 比 率	-4.2	%
入 籍 費	164,643,387	千円	特 定 負 担 比 率	-	%
出 籍 費	159,246,900	千円	市 町 村 調 整	H24 特別区 H25 特別区 H26 特別区	
実 質 収 支	4,487,657	千円	(年 度 毎)	H27 特別区 H28 特別区	
標準財政規模	97,737,824	千円			
地方債残存高	14,706,010	千円			

※ 平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
 ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成25年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄

(12)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

平成28年度

東京都品川区

人	382,761	人(29.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本人	371,019	人(29.1.1現在)	通 債 実 質 赤 字 比 率	-	%
国 籍	22,94	人	実 質 公 債 負 担 比 率	-4.2	%
農 入 総 額	164,643,387	千円	特 定 負 担 比 率	-	%
農 出 総 額	159,246,900	千円	市 町 村 調 整	H24 特別区 H25 特別区 H26 特別区	
実 質 収 支	4,487,657	千円	(年 度 毎)	H27 特別区 H28 特別区	
標準財政規模	97,737,824	千円			
地方債残高	14,706,010	千円			

※ 平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
 ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成25年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄